

平成 24 年度姫路市提案型協働事業

地域で活躍できる人材になろう！
若者市民活動担い手体験プログラム

事業報告

NPO法人 コムサロン21

1. 事業の実施に関する事項

実施日	内容	実施場所	講師
平成 24 年 7 月	大学等にヒアリング	兵庫県立大学、姫路 独協大学、近大姫路 大学	
8 月～10 月	大学や若者支援機関 に周知活動	姫路市内の各大学、 若者支援機関	
10 月 26 日	プログラムの実施 第 1 回目講座の実施 (市民活動とネット ワーク作りについて)	姫路市市民会館 第 3 会議室	講師：NPO 法人コムサ ロン 21 理事長 前川裕司氏
11 月 7 日	プログラムの実施 第 2 回目講座の実施 (市民活動に出る前 の心構えと活動団体 の紹介)	姫路市市民会館 第 3 会議室	講師 ・ NPO 法人コムサロン 21 事務局長 有元純氏 ・ 姫路食文化協会 副会長 前川裕司氏 ・ 姫路城清掃会 代表 須鎗則男氏 ・ 亀山御坊楽市楽座実行委 員会 森川嘉猛氏
11 月～12 月	プログラムの実施 地域活動の実践 (姫路食博 2012、姫 路城清掃会等への参 加)	姫路市内	
12 月 12 日	プログラムの実施 振り返りワークショ ップの実施	姫路市市民会館 第 3 会議室	講師：公益財団法人 神戸 YMCA 阪田晃一氏
12 月 22 日	プログラムの実施 成果発表報告会・交流 会の実施	姫路市市民会館 第 6 会議室	

2. 事業目的

この事業では、市民活動の新たな担い手を発掘するとともに、担い手を育成するために、5回構成のプログラムを実施し、市民活動に対する知識の習得や地域イベントへの参加を通して、多様な市民との接触を経験し、若者が地域にとって魅力ある人材になってもらうという事を目的として行いました。

そして、担い手となる彼らが将来、地域企業やNPOなどの地域社会にでて活躍できるように、今後NPO法人コムサロン21が彼らの人的なネットワークづくりをサポートしていきます。

【事業対象者】

- ・姫路市内で活動する学生、若者（20代～30代）

3. プログラムの報告

【プログラムを行った背景】

姫路市地域の市民活動には、「活動のメンバーがいつも同じである」という現状があります。そうなれば、今後活動を続けていく中で、活動のメンバーは次第に高齢化してしまい、5年10年とずっと続けていきたい活動が継続して続けられなくなってしまう、ということも考えられます。

そこで、姫路市地域の市民活動の新たな担い手となる若者を発掘するために、10月～12月にかけてこのプログラムを行いました。

【プログラムの着眼点】

市民活動や社会参加をするということは、たくさんの人と出会い、かかわるということでもあります。

市民活動の担い手には、たくさんの人とのつながり（＝ネットワーク）を持つ力が必要であると考え、参加者の方々には、“人とのつながりを持つためには”という意識を持ってもらい、プログラムに参加していただきました。

【プログラムの内容】

10月26日(金)

地域貢献とネットワークづくりについての講座の実施 参加人数 9名

NPO 法人コムサロン 21 理事長である前川裕司氏より、『地域貢献とネットワークづくり』について講座を行いました。

コムサロン 21 の活動についてや、ご自身の経験に基づいたネットワークの築き方などについて詳しくお話していただきました。



11月7日(水)

市民活動に出る心構えと活動団体の紹介 参加人数 10名

11月に行われる、姫路食文化協会の「姫路食博 2012」のイベントや、姫路城清掃会の「お城のそうじ」、亀山御坊楽市楽座実行委員会の「亀山御坊楽市楽座」の活動に参加するため、『市民活動に参加する心構え』について学び、上記3団体の活動について各代表の方から紹介をいただきました。

その後、参加者は3団体の活動の中から参加したいものを選びました。

活動に参加、実践

11月10日、11日 姫路食博2012 参加人数3名



11月11日、12月9日 お城のそうじ 参加人数:6名



12月12日(水)

参加した活動の振り返り 参加人数 7名

参加した活動について、改めて「参加の動機」や「出会ってよかった人」、などの振り返りを行いました。

また、「誰のために、何のために社会参加を行うか」などを全員で考え、意見交換を行いました。



12月22日(土)

プログラム報告・交流会 参加人数 13名

プログラム参加者が、プログラム全体を通して感じたことなどを報告、その後参加者全員が質問を考え、答えあいをしながらの交流会を行いました。



報告の項目としては、

- ・現在取り組んでいること（仕事や活動）
- ・どんな市民活動に参加してきたか
- ・活動を通して「出会ってよかった」と思った人は

- ・市民活動について感じたこと
- ・プログラム全体を通しての感想

これらを、5分間スピーチという形式で話してもらいました。

【参加者の報告】

- ・グループの中で意思疎通を図りながらひとつの事を成し遂げていく難しさを感じた。
- ・活動に参加してみて、人の“善意”というものに気づきました。
- ・今回をきっかけとして、自分をもっと積極的に交流できるものだと思えるようになりました。
- ・たくさんの人が活動に参加しているのを見て、同じ志を持っている人がいるのに勇気づけられた。
- ・自分に自信がついた。人の喜ぶ顔が直接見ることができ良かった。
- ・自分でもできるんだなと思った。
- ・誰かの役に立つことを行う気持ちが、自分にとって一番大切なことだと気付くことができた。

4. 事業実施の成果

今回の事業をきっかけに、ボランティア活動に積極的に参加しようとする人が増え、市民活動への参加意欲を高めることができました。参加者のうち、2～3名が姫路城清掃会の活動への継続的に参加しています。亀山御坊楽市楽座実行委員会の活動にもプログラム実施期間中参加した人は居なかったものの、プログラム期間終了後に1名参加しています。

また、求職中の若者が何名かプログラム期間中に進路等が決定しています。彼らが今後、活動や仕事を通して、地域社会の中で活躍することが期待されます。